

- (1) 11 月 15 日に米軍横田基地において発生した物料投下訓練中の事故について、日本政府が米側に行った申し入れ文書の資料提供
別添 1～3 のとおり
- (2) 米軍横田基地において発生した物料投下訓練中の事故について
- ・ 物料投下訓練の高度、投下した貨物の大きさ（縦・横。高さもしくは体積）、落下による衝撃の大きさ（数値で）
米側からは、縦 36 インチ（約 91cm）、横 24 インチ（約 61cm）、高さ 12 インチ（約 30cm）であり、落下による衝撃の大きさは不明である。なお、高度については運用に関することであるため、お答えできない旨の回答を得ている。
 - ・ 担当者的人為的ミスとは具体的には何か。なぜ、そのような人為的ミスが発生したのかの原因
米側からは、投下物資にパラシュートが適切に装着されていなかったために発生したとの回答を得ている。
- (3) 米軍横田基地での日常的な物料投下訓練について
- ・ 日常的に投下訓練で投下する物の重さ及び大きさ
米側からは、一般的には縦 36 インチ（約 91cm）、横 24 インチ（約 61cm）、高さ 12 インチ（約 30cm）で重さは約 70 ポンド（約 30kg）であるとの回答を得ている。
 - ・ 投下訓練は、年間どれくらいの頻度で行っているのか
米側からは、当該訓練の頻度については運用に関することであるため、お答えできない旨の回答を得ている。
 - ・ 夜間の投下訓練を行っているのか
米側からは、夜間にも投下訓練を行っているとの回答を得ている。
- (4) 11 月 18、19 日、米軍横田基地に FA18 の飛来にかかわって、飛来機数、騒音発生時刻及び騒音の大きさ、訓練内容、タッチアンドゴーの有無
米側からは、FA-18 4 機が横田基地に飛来した。訓練内容等（離着陸の時間）については運用に関することであるため、お答えできないが、タッチアンドゴーは実施した旨の回答を得ている。
- なお、防衛省が横田飛行場の滑走路北側及び南側に近接した地点に設置している航空機騒音自動測定装置により、WECPNL（以下「W」という。）を算出したところ、北側地点では、18日が85.1W（Lden69.3dB）、19日が92.3W（Lden72.3dB）であり、南側地点では、18日が93.6W（Lden74.3dB）、19日が86.7W（Lden70.1dB）であった。**

平成29年11月16日

横田基地第374空輸航空団司令官

ケネスE. モス空軍大佐 殿

件名：横田基地における物料投下訓練中の事故について

本日、貴軍から当局に対し、11月15日（水）に横田基地においてC-130Jが物料投下訓練を行っていた際に、貨物の一つがパラシュートから外れて基地の地面に落ちたとの情報提供がありました。本件は、周辺住民の方々に大きな不安を与えるものであることから、原因究明及び再発防止に努め、引き続き、本件に関する情報提供をしていただきますようお願いいたします。

北関東防衛局企画部長

池田 剛

平成29年11月17日

横田基地第374空輸航空団司令官

ケネスE. モス空軍大佐 殿

件名：横田基地における物料投下訓練中の事故について

標記について、速やかな第1報の情報提供に感謝します。昨日、私からは引き続きの情報提供を求めたところです。

本件は基地内で発生した事故ではありますが、周辺住民の方々に大きな不安を与えるものであることから、発生したことは誠に遺憾です。住民の方々の不安を解消し、横田基地の運用について今後も地元の理解と協力を得ていく必要があることから、貴軍におかれては原因究明、再発防止及び情報提供に努めて頂くことはもとより、再発防止策が講じられるまでは物料投下訓練を控え、再発防止策等についてご説明を頂いた上で同訓練を再開されますよう改めて要請いたします。

北関東防衛局企画部長

池田 剛

平成29年11月20日

横田基地第374空輸航空団司令官

ケネスE.モス空軍大佐 殿

件名：横田基地における物料投下訓練の再開について

本年11月15日に横田基地において発生した物料投下訓練中の事故について、貴官におかれては、周辺住民の方々の思いを理解され、迅速かつ丁寧な対応をされていることにお礼を申し上げます。

本日までに、貴軍より原因究明の結果、再発防止策及び明日（11月21日）から同訓練を再開すること等について説明を受けたところです。当職としては、安全な訓練の実施に向けた合理的な措置がとられていると判断されることから、明日からの訓練の再開について理解し、貴軍の措置された内容等を地元自治体へしっかりとお伝えしたいと考えております。貴軍におかれては、今後の同訓練の実施に当たっては、再発防止策を確実に実施し、安全な訓練の実施に努めるよう配慮をお願いいたします。

厳しい安全保障環境の下で貴軍の役割は益々重要なものとなっております。今後とも貴軍の活動に対する周辺住民の方々の理解と協力が得られるよう、貴官と強く連携して対応していきたいと考えますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

北関東防衛局企画部長

池田 剛